



日本放射線リスク評価委員会(JCRRA)

設立総会および記念講演会開催のご案内

— フクシマから15年、放射線防護の新たなパラダイムを日本から発信 —

チェルノブイリ原発事故の影響を受けたヨーロッパで1997年に設立され、主にそれまで無視されてきた内部被曝の健康影響を強調し、ICRPの線量限度より10倍厳しくするよう勧告したのは、欧州放射線リスク委員会(ECRR)でした。このECRRの精神を継承しつつ、ICRPの評価体系の欠陥である因果関係の科学の欠如を克服し、「人権を守るための、科学による被曝評価体系の確立」を目指して、新組織「日本放射線リスク評価委員会(JCRRA)」を立ち上げます。より詳しいJCRRAの設立趣意書案や規約案などは公式サイト(<https://jcrra.org/>)からご覧いただけます。

福島原発事故から約15年。被害者、支援者、医師、研究者、弁護士らが集い、科学的にも倫理的にも既存の枠組みを超えた新たな放射線防護の在り方を議論する本委員会を、ぜひご取材賜りたくご案内申し上げます。また、本委員会は設立後、設立趣意にご賛同いただける全ての方に参加を呼びかけます。皆様も是非、ご参加ください。

■ 開催概要

- 日時：2026年2月22日(日) 13:30～ (受付13:00～)
- 会場：神戸大学 深江キャンパス または オンライン
- 取材・参加の方は事前に公式サイト(<https://jcrra.org/>)よりご登録ください。
取材の場合は、コメント欄に「取材」とご記入ください。

■ プログラム構成

1. 第1部：設立記念講演 (13:30～15:00)
 - 山内知也(神戸大学教授)、高橋博子(奈良大学教授)、森松明希子(原発賠償関西訴訟代表)、矢ヶ崎克馬(琉球大学名誉教授)による講演
2. 第2部：設立総会 (15:30～17:30)
 - 趣意案・規約案などの決定、2026年度活動方針の発表
3. 記者会見 (17:30～18:00)
4. 第3部：設立祝賀会 (18:00～19:30)

■ 取材のポイント

- 国際的活動の継承：ECRRの志を継ぎ、日本を拠点に放射線被曝評価・防護体系を構築する国際的な意義
- 多様な構成員：専門家だけでなく被害者や支援者が一堂に会する草の根の活動
- 政策への提言：内部被曝の影響など被曝の実情に基づく実効性のあるリスク評価の構築

【本件に関するお問い合わせ・取材お申し込み先】

JCRRA 準備会事務局 事務局長：藤岡 毅 Email：tsuyofujioka@gmail.com / 090 (5056) 4604